

大宮グランドセントラルステーション推進会議  
(第18回基盤整備推進部会) 主なご意見等

開催日時：令和元年8月29日(木) 15:00～17:00

開催場所：大宮区役所6階 大会議室

出席者：

選出区分	役職等
学識経験者	埼玉大学 大学院理工学研究科 教授 久保田 尚
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 総合企画本部 投資計画部 課長 計画調整グループリーダー
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 大宮支社 企画室長
鉄道事業者	東武鉄道 経営企画本部 部長
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 改良工事事務課 課長(代理)
鉄道事業者	埼玉新都市交通 代表取締役常務
交通事業者	埼玉県乗用自動車協会 会長
交通事業者	東武バスウエスト 運輸統括部 業務課長(代理)
交通事業者	国際興業 運輸事業部長
交通事業者	西武バス 運輸計画部 計画課長(代理)
関係行政機関	埼玉県 企画財政部 交通政策課 主幹(代理)
関係行政機関	埼玉県警察本部 交通部 交通規制課 道路協議係長(代理)
関係行政機関	さいたま市 都市局 都市計画部長
関係行政機関	さいたま市 都市局 都心整備部長
デザイン コーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長
オブザーバー	埼玉県 産業労働部 観光課 主査
オブザーバー	都市再生機構 東日本都市再生本部 事業企画部 事業企画課長

■まちづくりガイドラインの検討状況について 【⇒事務局からの回答】

- ・『おもてなし歩行エリア』と『ストリートテラス』の概念が重複しているように見受けられる。「辻空間」「アーバン・パレット」など様々な概念が出てくるが、わかりやすく伝わるよう概念整理をお願いしたい。

■構想実現案・駅改良計画の検討状況について

- ・市は JR と駅舎の検討をしているのか。前回の合同部会では JR は駅舎に関して発言しておらず、駅舎の建替えや設えについてはまだ協議をしていないということであったと思う。

⇒JR とは、具体的な駅舎と駅ビル検討エリアの中身の議論はしていない。検討エリアの範囲については、前回資料から表現を修正した。

- ・歩行者幅員の整理について、アーバン・パレットができることで歩行者が増えることも考えられる。その場合もこの幅員で問題ないのか。

⇒検討した結果、提示している幅員で足りる結果となっている。

■道路整備計画・交通需要マネジメント計画の検討状況について

- ・交通需要マネジメントの駐車地域ルールについて、原単位等の基準を下げるという話と、周辺道路の混雑抑制のために車は外縁部で停めてもらうという話の2つが混在しているので、しっかりと整理して考えた方がいい。

- ・附置義務台数の緩和自体はよいが、ルールを見誤ると道路状況が悪化してしまう。今のデータだけでなく、他の事例や用途別の駐車場利用状況等を把握し、大宮に適したルールを慎重に検討しなければならない。

- ・交通需要マネジメント施策のメニューを今後すべて検討してくれるのか。MaaS に関しては、まだ将来のことではないか。

⇒駐車地域ルール、フリンジ駐車場を中心にまとめていくが、交通需要マネジメントの計画を来年度以降も継続して進めていく中で、必要な施策があれば継続して検討を進めていきたい。MaaS については、既に一部地域で動き始めているため、動向を見据えながら検討する。

- ・容積率 1000%と決めているが、そもそも容積率というのは道路の混雑を勘案しながら決めるべきものである。1000%としてシミュレーションしたところ道路渋滞が激しくなるため、800%にするなどの議論はあるのか。

⇒より厳しいケースでシミュレーションした場合にどういう状況になるのかと

ということで 1000%という数字を取った。結果によっては、想定した数値の見直しを含めて考えていく。

- ・容積率は各地区の事業性にも大きく関わってくる。容積率・道路・交通需要マネジメントは密接に関係し、各地区とも早く知りたい内容であるため、スケジューリング等うまく進めてほしい。

以上